

京都府内 令和6年中

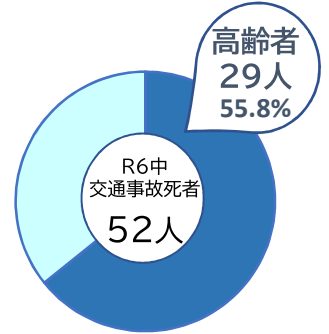
# 高齢者の交通死亡事故

令和6年中、京都府内では**52人**の方が交通事故で亡くなられています。  
そのうち、**29人**が**65歳以上**の高齢者で、全体の**約6割**を占めています。

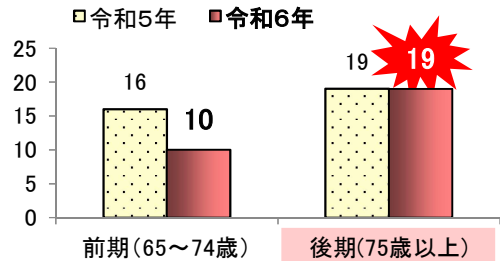
## ● 交通事故発生状況

※ ( )は前年対比

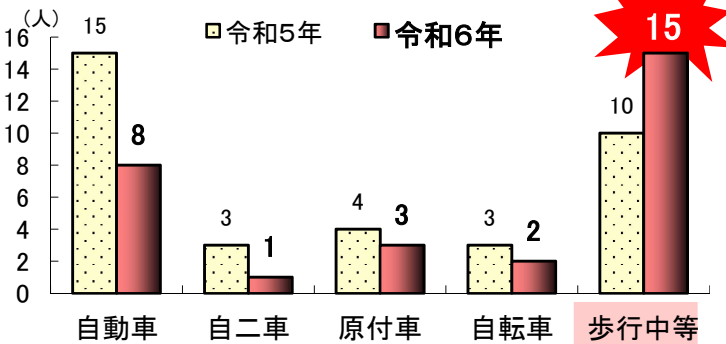
	発生件数【件】	負傷者数【人】	死者【人】
交通事故全体	3,745(-322)	4,233(-435)	52(-7)
うち高齢者	1,370(-123)	713(-35)	29(-6)



65歳以上の交通事故死者(29人)のうち、75歳以上の方が半数以上(19人)を占めています。



## ● 状態別死者数



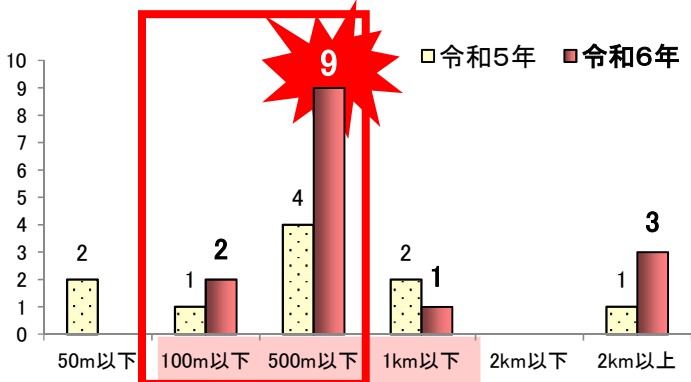
歩行中が**最多**となっています。

「歩行中」の中でも、「**道路横断中**」の交通事故が**4割**を占めています。

少し遠回りになっても、**信号や横断歩道**を利用し、車などが来ていないか、まわりの**安全をよく確かめてから横断**しましょう。



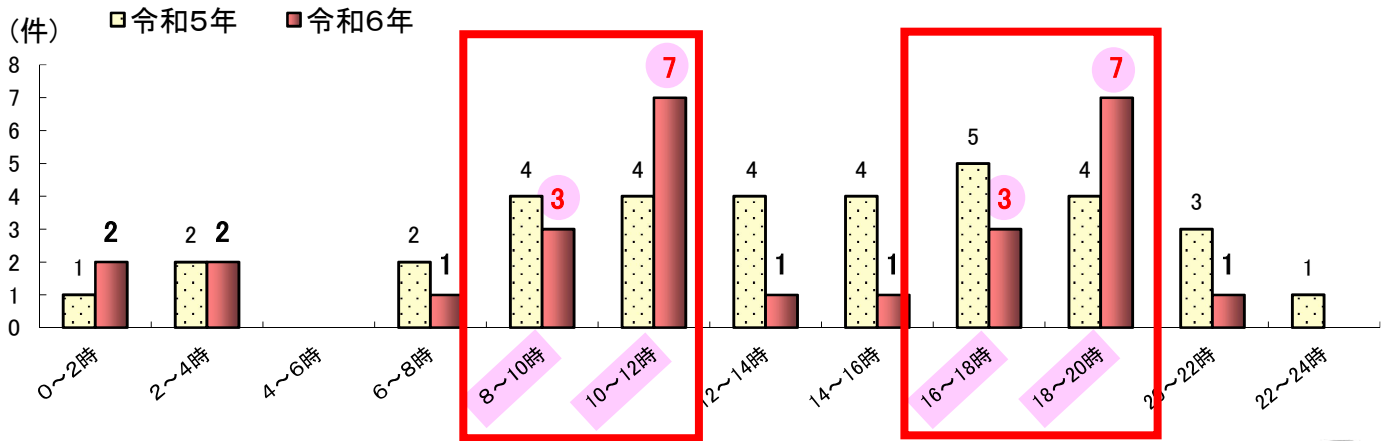
## ※ 歩行中死者の自宅からの距離



歩行者の多くは、**自宅から500m以内**で交通事故に遭われています。



## ● 時間帯別死者数

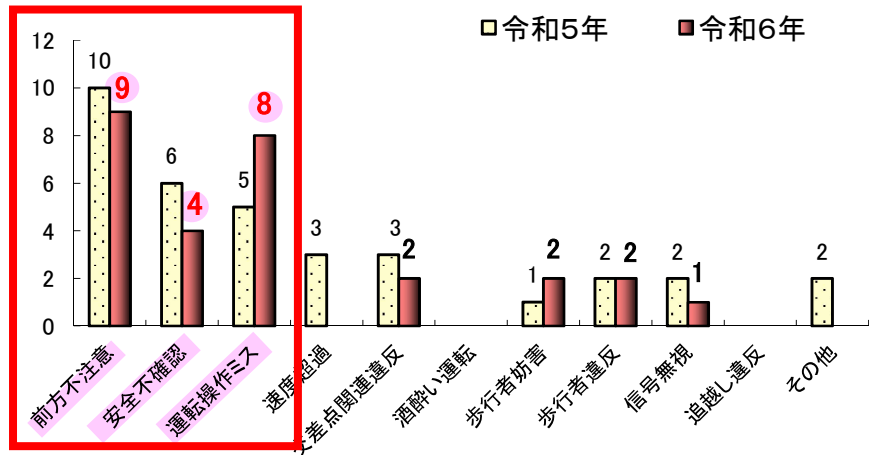


午前中、日没前後に交通事故が多発しています。  
歩行中の交通事故死者15人のうち、14人は反射材用品の着用がありませんでした。  
夕方から夜間の外出では、「早めのライト点灯」で歩行者等の早期発見に努め、「反射材用品の活用」で、運転者から目立つ工夫をしましょう。

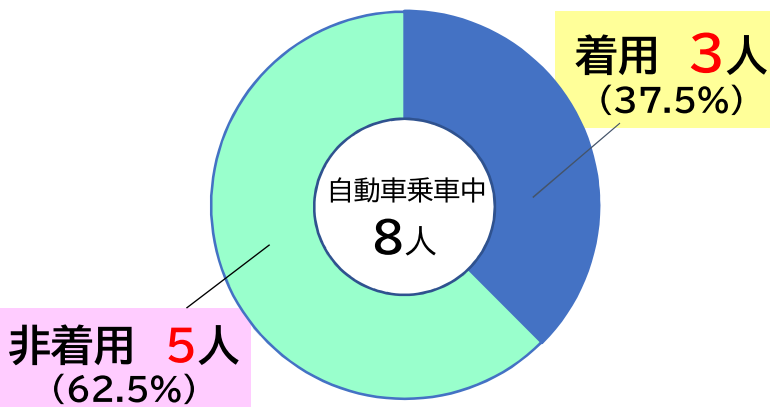


## ● 主な事故原因別(第1当事者)

車両の運転では、  
**前方不注意**  
**安全不確認**  
**運転操作ミス**  
などの原因によるものが目立ちます。  
特に、交差点やその付近では、状況に応じて徐行や停止をして、確実に安全を確かめましょう。



## ● シートベルト着用有無別



シートベルト非着用者(5人)のうち、3人は着用していれば生存の可能性がありました。  
後部座席を含む全ての座席でシートベルトを着用しましょう!

